



大願寺地区の造成地

など、市民の皆さんの主体性を重視した取り組みを行ってきました。将来的に市民と行政がパートナーという関係でまちづくりを担っていきける風土を築いていきたいと考えています。

問 情報公開は情報非公開と思われる。市長に近いところでは組織、個人を問わず情報は流れていますが、議会では非公開で秘密会を行ったこともあります。また逆に、市民の方から議員が情報を入手するようでは重大な問題です。

市長はこのような事態をどのように考えているのか、お尋ねします。

答 政策形成過程においては、市民に積極的に参画してもらいたいと考えます。ある一定の瀬踏みを行いたい時には、議員よりも先に市民に話をするケースもあると考えます。

問 債務の平準化について伺います。大願寺山開発に関わる借金の返済計画ですが、市長のかたくなな態度と、議案を上程するまで黙しておきながら、早く早く可決を求めています。これでは議会は市長を信用しません。もっと誠意のある対応はできないものでしょうか。

また、「大竹中央工業団地」は売却する気があるのでしょうか。他の自治体の例を見習って東京事務所等を開設し、もっと積極的な取り組みを行うべきではありませんか。

答 (債務の平準化については、これまででの質問者に対する答弁と同じです。)

トップセールスをはじめ、職員による企業訪問についても昨年以上に言うとともに、広島県とも、これまで以上に情報交換等ができる体制を図っていきます。

問 粉飾とパフォーマンスの中川市政に終始したと思われませんが、中川市政が行った4年間の行政施策を振り返り、市長自身どう評価されているか素直な思いをお聞かせください。

答 4年前に掲げた公約については、ある程度達成できた一方で、「活力ある住みやすい大竹市」を市民の方々に実感してもらうには、まだまだ不十分であると感じています。

しかし、自主自立(律)の自治体となるべく、財政再建等の道筋はできつつあると感じています。

請願・陳情

3月定例会では、継続審査中の陳情2件に加え、新たに陳情1件が提出され、次のとおり審議されました。

「公立保育所廃止・民営化の中止を求める陳情書について」

—継続審査—

陳情者

大竹のこどもを守る会

大竹保育所保護者会吉岡美智子氏

外3保護者会会長

公立保育所は地域の子育てセンターとして、大きな役割を果たしている。大切なことは、この公立保育所を廃止・民営化することではなく、充実させることであり子どもたちにとって不安な世情だからこそ健やかな成長のために最善を尽くす必要がある、本市で子育てが望まれるような保育行政の推進を強く求める。という内容です。

なお、木野小学校の統廃合を行わない事を求める陳情書、木野保育所の存続を求める陳情書の2件の陳情は継続審査としております。

トレイ・廃プラスチック処分委託料の補正予算可決される。

3月定例会市議会では、これまで懸案事項となっておりました委託業者が処分をせず、広島市内に放置されている廃プラスチックの再処分に要する委託料が可決されました。

本件に関する議案(議案第41号平成17年度大竹市一般会計補正予算(第7号))を審査した総務文教委員会における主な質疑・答弁をご紹介します。

問 今回提出されたトレイ廃プラスチック処分費2千895万円の算出根拠について問う。

答 昨年の9月議会で認められた補正予算5千700万円により、現在までのところ合計417・63トンと1千896万7千779円で処理している。

また、現在のところ、予算残額が3千803万2千221円あるため、仮に業者から提出された見積価格、トン当たり3万7千450円で処理するとすれば、1千15・55トン処理できる計算となる。

このため、今回の補正予算としては残り約770トン分の処分費を計上したものである。

問 今回の解決策について庁内にプロジェクトチームを組んで検討し、合計242の関連業者に見積もり案内を出したと聞くが、有価物としての売却は視野に入れなかったのか。また、見積額をゼロ円で回答してきた業者もあるが、採用できない理由はどうか。

答 有価物として売却されれば、最終確認という市の責任はなくなるが、売却される先がどのような会社なのか、また確実に商行為が行われているのかを確認する必要がある。実際に廃プラスチックに

は売却に適さないものがあり、その処理あるいは売却するまでの破碎・圧縮・梱包等の処理を考えると、適正な処分価格は必要と思われる。ゼロ円で見積もりを提出してきた業者は市の調査に対し、輸出するとの回答であった。県ならびに環境省の指摘もあることから、当初の見積もり条件では輸出については対象外という設定にしている。

問 処理業者を選定する際の条件はどのように設定したのか。

答 見積もり案内の際に、まず輸出をしないこと、それからできるだけサイクルに沿ったやり方でやること、実績があれば併せて提出するように要請している。また、照会したところは産業廃棄物処理業者であるため、その施設を一般廃棄物処理施設として届出してもらうことも条件に加えている。

また、これまでの経緯を踏まえ、安全・確実が最優先されるため、実績がないことはかなりマイナス要因となるが、決定的なものではない。

実際に現地で調べ、その業者が存在する自治体においても聞き取り調査や自治体の考え方も調査することになっている。

問 ニコー株式会社に対する法的措置は考えているか。

答 現在は業務不履行による委託料の返還請求を行っているが、廃プラの処理が完了し、金額が確定した段階での提訴を考えている。

議会日誌

2月1日	議員全員協議会	3月2日	産業厚生委員会	〃	議会運営委員会
2月2日	市議会だより編集委員会	3月3日	総務文教委員会	〃	予算特別委員会
〃 3日	管外視察	3月6日	建設水道委員会・協議会	〃	予算特別委員会
2月8日	分権改革推進会議・全国市議会議長会理事会（東京都）	3月7日	岩国・大竹道路対策特別委員会	3月28日	予算特別委員会
〃 10日	市議会議長会理事会（京都）	3月9日	市議会だより編集委員会	3月29日	予算特別委員会
2月13日	産業厚生委員協議会	〃	市議会だより編集委員会	3月30日	予算特別委員会
〃	議員全員協議会	3月10日	市議会だより編集委員会	3月31日	議会運営委員会
2月14日	議会運営委員会管外視察	〃	市議会だより編集委員会	〃	議会運営委員会
〃 15日	議員全員協議会	3月16日	建設水道委員会	〃	建設水道委員会
2月22日	議員全員協議会	3月17日	総務文教委員会	4月6日	市議会だより編集委員会
〃	議会運営委員会	3月20日	建設水道委員会	4月17日	市議会だより編集委員会
〃	建設水道委員協議会	〃	議会運営委員会	4月18日	議員全員協議会
3月1日	議会運営委員会	3月23日	建設水道委員会	4月19日	広島県市議会議長会定例会（広島市）
〃	議会運営委員会	〃	議会運営委員会	4月24日	市議会だより編集委員会
〃	建設水道委員協議会	3月24日	総務文教委員会	4月25日	中国市議会議長会定期総会（松江市）
〃	議会運営委員会	〃	議会運営委員会	〃 26日	